



Title	大阪芸術大学図書館所蔵〈江戸のマンガ〉について
Author(s)	田中, 敏雄
Citation	デザイン理論. 2007, 50, p. 148-149
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53074
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪芸術大学図書館所蔵〈江戸のマンガ〉について

田中敏雄／大阪芸術大学

はじめに

此度の意匠学会の研究部会では研究発表というよりは展示の見学を目的としたものであった。平成18年9月9日～9月28日の間、大阪芸術大学図書館所蔵の主に江戸時代の版本の中から、「江戸の漫画」という主題にあった版本を選び、展示し、それを見学していただいた。4つのケースだけなので、展示数が少ないと思い、漫画に関係のあると思われた大阪芸術大学図書館所蔵の江戸・明治時代の「画譜」「絵本」の版本も別室で展示して、研究部会の参加者の方々の閲覧に供した。

漫画について

江戸時代には版本に限らず本画や浮世絵版画の世界でも現代の漫画に相当する風刺・滑稽を表現した絵画が多く描かれた。それは「日本の戯画」(サントリー美術館・昭和61年)、「日本の美 笑い」(福岡市美術館・2000年)の展覧会にも多く出品され、江戸時代における絵画表現の多様性を認識せしめた。江戸時代の画譜や絵本等の版本にも「狂画」「略画」「籠画」「鳥羽絵」等、現在の漫画に通じる言葉を付した本が出版されている。又、葛飾北斎の『北斎漫画』や立林何帛の『光琳漫画』や英一蝶の『漫画図考 群蝶画英』等、「漫画」という名を付した版本が出版されている。漫画の“漫”という語には①あふれる、②とりとめがない、③あざむくという意味がある。著名な『北斎漫画』全十五巻は万物を写した絵、社会・人物を風刺したり、ユーモラスに表現した絵、空想化(絵そらごと)した絵等と様々ある。北斎のとりとめのないイメージ

や知識を絵画化したもので、『図説百科辞典』のようなもので、現代の漫画の意味に共通するものもあれば、合致しないものもある。『光琳漫画』は尾形光琳の洒脱・軽妙・機智に豊んだ絵画の性格を取り入れて、軽妙・洒脱な線描で草花図を略画風に描いたものである。『漫画図考 群蝶画英』は英一蝶の洒脱で滑稽味のある絵が収められている。江戸時代の漫画は言葉の上においても、実際の漫画という題を冠した版本においても現代の漫画に通じるところと通じないところがある。

漫画の歴史

我国は漫画やアニメーションが盛んな国で、量的にも、質的にも世界を凌駕していると言われている。それは近代になって急に成長したのではなく、永い伝統のもとに育まれてきたのである。先般、「大絵巻展」(京都国立博物館・2006年)が開催され、多くの人々が鑑賞に訪れた。その展覧会の主旨の中に、絵巻物は「現代の映画や漫画、アニメーションのルーツともいわれている」と記されていた。絵巻物が漫画のルーツとされる理由についてはいろいろとある。例えば、平安時代の「伴大納言絵巻」は絵画でもって起承転結の物語りを生き生きとした人間描写でダイナミックに、またドラマチックに表現されていることなど現代の漫画、アニメに共通するところがある。「鳥獣人物戯画」には擬人化された動物の風刺的で、滑稽な表現があり、それが現代の漫画に通じる要素を含んでいる。又、絵巻物と漫画の共通性は表現だけの問題ではなく、絵巻物は掛軸や屏風と異なり、鑑賞者の

手で画面を繙いてゆく方法も本形式の漫画の鑑賞方法と似たところがある。他にも、絵巻物の霞・雲が漫画の画面転回の枠に相当することなど絵巻物が漫画のルーツであるということは理解できる。この絵巻物は我国では掛軸・屏風とともに絵画形式として鎌倉時代・室町時代と受け継がれてゆく。室町時代にはより物語性のある御伽草子が絵画化された。そして、桃山時代には嵯峨本の「伊勢物語」が出版され、形式の上により現代の漫画に近づいたように思われる。江戸時代には画譜・絵本が冊子の形で多く出版されたことが、現代我国の漫画の隆盛に果たした役割は大きいと思われる。

展示について

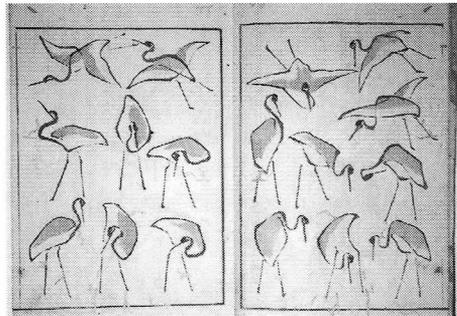
今回、見学していただいた展示は現代の漫

画を四つの意味内容に分けて、江戸時代の版本の中から、それに当て嵌まるものを選んで展示した。

1. 「滑稽」 ユーモラスでおどけた表現。『絵本古鳥図賀比』『鳥羽絵扇の的』『光琳画譜』『北斎漫画』等
2. 「略画」 一筆描きのような簡単な筆法。『早席画譜』『文鳳絵画』『群蝶画英』『麁画百物』『一筆画譜』等
3. 「劇画」 物語の一部を絵本の挿絵として劇画的に表現したもの。『絵本直指寶』『絵本鶯宿梅』『絵本和漢誉』等
4. 「人物づくし」 人間の姿態をユーモラスに表わしたもの。『墨僊叢画』『北斎漫画』『人物百代』等



1. 滑稽『光琳画譜』



2. 略画『一筆画譜』



3. 劇画『絵本和漢誉』



4. 人物づくし『北斎漫画』